



2023年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月29日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
 コード番号 7375 URL <http://www.r-inverse.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03 (6281) 4879
 定時株主総会開催予定日 2023年9月28日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2023年9月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期の連結業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|-------|------|-------|---------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年6月期 | 4,472 | 19.8 | 211 | △19.7 | 176 | △16.9 | △504 | — |
| 2022年6月期 | 3,732 | — | 263 | — | 212 | — | 182 | — |

(注) 包括利益 2023年6月期 △504百万円 (ー%) 2022年6月期 182百万円 (ー%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年6月期 | △151.81 | — | △46.5 | 1.3 | 4.7 |
| 2022年6月期 | 55.30 | 54.37 | 33.5 | 6.9 | 7.0 |

(参考) 持分法投資損益 2023年6月期 ー百万円 2022年6月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年6月期 | 3,783 | 99 | 1.5 | 16.54 |
| 2022年6月期 | 3,252 | 570 | 16.8 | 164.70 |

(参考) 自己資本 2023年6月期 55百万円 2022年6月期 545百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年6月期 | 531 | △317 | △266 | 859 |
| 2022年6月期 | 476 | △92 | 40 | 912 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2023年6月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 | — | — | — |
| 2024年6月期(予想) | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,900 | 9.6 | 630 | 298.6 | 595 | 238.1 | 550 | — | 165.24 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社コネクション、除外 ー社 （社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 11「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表の関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

| | | | |
|----------|------------|----------|------------|
| 2023年6月期 | 3,338,221株 | 2022年6月期 | 3,312,821株 |
| 2023年6月期 | 137株 | 2022年6月期 | 23株 |
| 2023年6月期 | 3,325,471株 | 2022年6月期 | 3,306,443株 |

（参考）個別業績の概要

1. 2023年6月期の個別業績（2022年7月1日～2023年6月30日）

(1) 個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|------|------|------|---|------|---|-------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年6月期 | 479 | 53.9 | 26 | — | 7 | — | △571 | — |
| 2022年6月期 | 311 | — | △74 | — | △98 | — | △97 | — |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年6月期 | △171.86 | — |
| 2022年6月期 | △29.50 | — |

（注）潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年6月期 | 565 | △429 | △83.9 | △142.07 |
| 2022年6月期 | 1,121 | 107 | 7.4 | 25.01 |

（参考）自己資本 2023年6月期 △474百万円 2022年6月期 82百万円

※ 2023年6月期の個別経営成績において、子会社の売上上昇に伴うロイヤリティ収入の増加により、2023年6月期営業収益、営業利益および経常利益が増加しております。また、今後の成長に向けたグループ内の組織変更などに伴いコネクション社の株式評価損558百万円等と計上したことにより、当期純利益は△571百万円となりました。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症による当社グループの業績への影響は軽微ですが、今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示します。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| （1）当期の経営成績の概況 | 2 |
| （2）当期の財政状態の概況 | 3 |
| （3）当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| （4）今後の見通し | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| （1）連結貸借対照表 | 5 |
| （2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| 連結損益計算書 | 7 |
| 連結包括利益計算書 | 8 |
| （3）連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| （4）連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| （5）連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| （継続企業の前提に関する注記） | 11 |
| （会計方針の変更） | 11 |
| （追加情報） | 11 |
| （セグメント情報等） | 12 |
| （1株当たり情報） | 15 |
| （重要な後発事象） | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において当社グループは、前期に引き続き既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。また、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が相当数増加しており、事業化の取組みを加速しております。従来の廃棄物処理モデルの変革を進め、新しい産業を創出することで社会の持続的発展に寄与することを目的に活動を続け、素材再生企業として独自技術によるユニークなビジネスモデルでマテリアルサイクルを実現し、資源循環において新たな付加価値を創造するSX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)に挑戦し、グループ企業の総力を結集して社会の持続的発展に挑戦した結果、当連結会計年度の売上高は前期に引き続き過去最高額を更新しました。

素材ビジネスにおいては、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」および再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）の販売が好調なことに加え、国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の取組みも加速しており、更なる成長のための基盤は拡大しております。また、ソリューション事業においては、昨今の廃棄物処理費用の高騰により資源循環における当社グループのノウハウへの引き合いが増加しており、コンサルティング受託、再資源化技術開発、ライセンス提供先への技術指導、設備設計業務受託などで収益源を拡大し、収益・利益の増加に貢献しております。

資源ビジネスにおいては、DX化等を進め生産性向上を進めていくと同時に、オペレーションの見直しやリソース配分の最適化を行い、過去最高水準の受注高を継続しております。また、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速し、既存事業での安定的な成長とともに収益基盤の強化に努めております。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高4,472,006千円（前期比19.8%増）、営業利益211,329千円（前期比19.7%減）、経常利益176,947千円（前期比16.9%減）、親会社株主に帰属する当期純損失504,840千円（前期親会社株主に帰属する当期純利益182,848千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、前期に引き続きセグメント損益は黒字で推移しております。原状回復工事増加に伴う廃カーペットタイル受入処理量は堅調に推移し、廃カーペットタイルを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の引き合いが増加しております。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）の生産・販売も堅調に推移しております。特にアパレルや成型パーツ向け等の複数の業界で引き合いが増加しており、新たな事業領域へ拡大・成長しております。さらに、当社自動車エアバッグ基布リサイクル技術や廃漁網リサイクル技術の海外企業へのライセンス供与やコンサルティングの受託が収益・利益へ貢献しました。このように、当社のビジネスノウハウに対する引き合いは増加しており、収益機会が拡大しております。

この結果、売上高は1,590,429千円（前期比0.7%減）となり、セグメント利益は165,819千円（前期比4.8%増）となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、オペレーションの見直しやリソースの最適化を進め、産業廃棄物処理事業で過去最高水準の受注高を維持し、安定的な成長を継続しております。収集運搬・中間処理を一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスを強みに営業活動を強化したことに加え、DX化・廃材処理バリューチェーン改革など顧客の収益性を高める取組みが功を奏し、増加する原状回復工事の受注獲得を継続しております。また、2022年7月1日付で株式会社コネクションをグループ化し、株式会社ジーエムエスとのシナジー創出により、収益力が向上しております。さらに、ケミカルリサイクルの事業化や廃プラ資源化新商流の創出、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速しております。

この結果、売上高は2,952,120千円（前期比33.4%増）、セグメント利益は553,935千円（前期比15.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における流動資産は1,676,994千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ17,982千円減少しております。これは主として商品及び製品が17,899千円増加、仕掛品が24,520千円増加、現金及び預金が62,001千円減少したことによるものです。

当連結会計年度における固定資産は2,106,068千円となり、前年度末と比べ552,420千円増加しております。これは、主として子会社取得による有形固定資産が526,192千円増加したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度における流動負債は1,169,051千円となり、前年度末と比べ257,796千円増加しております。これは主として子会社取得に伴う短期借入金100,000千円増加、1年内返済予定の長期借入金81,498千円増加、リース債務27,258千円増加したことによるものです。

当連結会計年度末における固定負債は2,514,309千円となり、前年度末と比べ743,060千円増加しております。これは、主として長期借入金が668,210千円増加、リース債務が69,771千円増加したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は99,702千円となり、470,356千円減少しております。これは主として減損損失計上に伴う利益剰余金が504,840千円減少したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、859,517千円（前連結会計年度比6.2%減）となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は531,192千円（前連結会計年度に得られた資金は476,461千円）となりました。これは主として税金等調整前当期純利益△477,639千円、減価償却費288,732千円、のれん償却額488,554千円、減損損失223,303千円、売上債権の増加額106,119千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は317,727千円（前連結会計年度に支出された資金は92,772千円）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出127,763千円、子会社取得による支出286,549千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出された資金は266,466千円（前連結会計年度に得られた資金は40,336千円）となりました。これは主に長期借入による収入420,000千円、長期借入金の返済による支出577,855千円によるものであります。

（4）今後の見通し

2024年6月期において当社グループは、2023年6月期に引き続き、既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、SDGsやサーキュラーエコノミーの文脈において増加している事業機会への取組みを更に加速してまいります。

素材ビジネスについては、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）の生産販売数量増加へ取組みながら、販売価格の向上に取り組んでまいります。また、リサイクルカーペットの需要増に伴い廃カーペットタイルのリサイクルの安定的な成長を見込んでおります。更に、増加する当社グループの廃棄物処理に対するノウハウへの引き合いに対し、ライセンス販売、設備設計支援等に取り組んでまいります。

資源ビジネスにおいては、2022年7月に買収を完了した株式会社コネクションとのシナジー最大化を図り産業廃棄物の取扱量を増やしながら、新規事業領域となる廃プラ資源化への取組みを加速してまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症による当社グループの業績への影響は軽微と想定しておりますが、今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示します。

以上により、2024年6月期の連結業績の通期見通しは、売上高4,900,000千円、営業利益630,000千円、経常利益595,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益550,000千円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当連結会計年度 (2023年6月30日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 934,956 | 872,955 |
| 受取手形 | 7,383 | 2,927 |
| 電子記録債権 | 12,555 | 8,545 |
| 売掛金 | 500,383 | 518,474 |
| 商品及び製品 | 145,459 | 163,359 |
| 仕掛品 | 6,384 | 30,905 |
| 原材料及び貯蔵品 | 42,110 | 44,466 |
| 前払費用 | 25,154 | 27,641 |
| 未収還付法人税等 | 17,008 | 7,217 |
| その他 | 5,209 | 3,785 |
| 貸倒引当金 | △1,628 | △3,282 |
| 流動資産合計 | 1,694,977 | 1,676,994 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 951,324 | 1,267,349 |
| 機械装置及び運搬具 | 1,227,296 | 1,238,489 |
| 工具、器具及び備品 | 99,540 | 111,159 |
| 土地 | 102,100 | 520,100 |
| リース資産 | 245,482 | 459,829 |
| 建設仮勘定 | 14,545 | 4,584 |
| 減価償却累計額 | △1,262,036 | △1,697,065 |
| 有形固定資産合計 | 1,378,254 | 1,904,447 |
| 無形固定資産 | 19,087 | 15,092 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 20,000 | 20,000 |
| 繰延税金資産 | 16,220 | 51,413 |
| 敷金及び保証金 | 138,197 | 123,002 |
| その他 | 6,409 | 20,001 |
| 貸倒引当金 | △24,521 | △27,888 |
| 投資その他の資産合計 | 156,305 | 186,529 |
| 固定資産合計 | 1,553,647 | 2,106,068 |
| 繰延資産 | | |
| 開業費 | 3,936 | — |
| 繰延資産合計 | 3,936 | — |
| 資産合計 | 3,252,562 | 3,783,063 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当連結会計年度 (2023年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 108,328 | 122,297 |
| 短期借入金 | — | 100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 400,482 | 481,980 |
| リース債務 | 44,057 | 71,316 |
| 未払金 | 179,623 | 162,445 |
| 未払費用 | 80,637 | 93,388 |
| 未払法人税等 | 43,982 | 62,898 |
| 未払消費税等 | 42,987 | 48,521 |
| 賞与引当金 | — | 3,868 |
| 受注損失引当金 | — | 13,224 |
| その他 | 11,155 | 9,110 |
| 流動負債合計 | 911,254 | 1,169,051 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,535,864 | 2,204,074 |
| リース債務 | 64,660 | 134,431 |
| 繰延税金負債 | 3,655 | 8,599 |
| 資産除去債務 | 155,735 | 156,653 |
| その他 | 11,333 | 10,551 |
| 固定負債合計 | 1,771,249 | 2,514,309 |
| 負債合計 | 2,682,503 | 3,683,360 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 152,875 | 160,196 |
| 資本剰余金 | 193,758 | 201,080 |
| 利益剰余金 | 199,036 | △305,804 |
| 自己株式 | △37 | △251 |
| 株主資本合計 | 545,632 | 55,220 |
| 新株予約権 | 24,425 | 44,481 |
| 純資産合計 | 570,058 | 99,702 |
| 負債純資産合計 | 3,252,562 | 3,783,063 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日) |
|-------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 3,732,902 | 4,472,006 |
| 売上原価 | 2,608,033 | 3,105,110 |
| 売上総利益 | 1,124,869 | 1,366,895 |
| 販売費及び一般管理費 | 861,826 | 1,155,565 |
| 営業利益 | 263,043 | 211,329 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 29 |
| 受取配当金 | 8 | 11 |
| 企業誘致奨励金 | 7,711 | — |
| 助成金収入 | 2,842 | 3,450 |
| 受取賃貸料 | 3,112 | 2,259 |
| その他 | 638 | 5,165 |
| 営業外収益合計 | 14,315 | 10,916 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,365 | 28,438 |
| 減価償却費 | 11,268 | 9,915 |
| 開業費償却 | 18,046 | 3,936 |
| 雑損失 | 13,142 | 359 |
| その他 | 2,642 | 2,647 |
| 営業外費用合計 | 64,467 | 45,298 |
| 経常利益 | 212,892 | 176,947 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 7,554 | 15,534 |
| 新株予約権戻入益 | 751 | 928 |
| リース解約益 | 951 | — |
| 特別利益合計 | 9,257 | 16,463 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 6,838 |
| 固定資産売却損 | 2,002 | 0 |
| 減損損失 | — | 223,303 |
| のれん償却額 | — | 439,699 |
| その他 | — | 1,208 |
| 特別損失合計 | 2,002 | 671,051 |
| 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△) | 220,147 | △477,639 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 41,296 | 75,409 |
| 法人税等調整額 | △3,997 | △48,208 |
| 法人税等合計 | 37,299 | 27,201 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | 182,848 | △504,840 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | 182,848 | △504,840 |

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 （自 2021年7月1日 至 2022年6月30日） | 当連結会計年度 （自 2022年7月1日 至 2023年6月30日） |
|-----------------|--|--|
| 当期純利益又は当期純損失（△） | 182,848 | △504,840 |
| 包括利益 | 182,848 | △504,840 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 182,848 | △504,840 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|---------|---------|---------|------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 149,625 | 190,508 | 16,188 | — | 356,321 | 14,200 | 370,522 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 182,848 | | 182,848 | | 182,848 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | 3,250 | 3,250 | | | 6,500 | | 6,500 |
| 自己株式の取得 | | | | △37 | △37 | | △37 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | — | 10,225 | 10,225 |
| 当期変動額合計 | 3,250 | 3,250 | 182,848 | △37 | 189,310 | 10,225 | 199,536 |
| 当期末残高 | 152,875 | 193,758 | 199,036 | △37 | 545,632 | 24,425 | 570,058 |

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

（単位：千円）

| | 株主資本 | | | | | 新株予約権 | 純資産合計 |
|---------------------|---------|---------|----------|------|----------|--------|----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | | |
| 当期首残高 | 152,875 | 193,758 | 199,036 | △37 | 545,632 | 24,425 | 570,058 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 親会社株主に帰属する当期純損失（△） | | | △504,840 | | △504,840 | | △504,840 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | 7,321 | 7,321 | | | 14,643 | △934 | 13,709 |
| 自己株式の取得 | | | | △214 | △214 | | △214 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | — | 20,989 | 20,989 |
| 当期変動額合計 | 7,321 | 7,321 | △504,840 | △214 | △490,411 | 20,055 | △470,356 |
| 当期末残高 | 160,196 | 201,080 | △305,804 | △251 | 55,220 | 44,481 | 99,702 |

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 （自 2021年7月1日 至 2022年6月30日） | 当連結会計年度 （自 2022年7月1日 至 2023年6月30日） |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 220,147 | △477,639 |
| 減価償却費 | 228,529 | 288,732 |
| のれん償却額 | — | 488,554 |
| リース解約益 | △951 | — |
| 減損損失 | — | 223,303 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △568 | 4,223 |
| 受取利息及び受取配当金 | △10 | △29 |
| 支払利息 | 19,365 | 30,221 |
| 固定資産除売却損益（△は益） | △5,552 | △8,696 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △115,458 | 106,119 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | 35,484 | △40,528 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 47,988 | △49,795 |
| 新株予約権戻入益 | — | △928 |
| 未払金の増減額（△は減少） | 14,769 | △44,438 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | △295 | △2,566 |
| 未収消費税等の増減額（△は増加） | 1,589 | — |
| その他 | 40,965 | 101,233 |
| 小計 | 486,003 | 617,766 |
| 利息及び配当金の受取額 | 10 | 29 |
| 利息の支払額 | △18,772 | △31,616 |
| 法人税等の還付額 | 32,165 | 16,854 |
| 法人税等の支払額 | △22,945 | △71,840 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 476,461 | 531,192 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △12,000 | △27,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 36,000 | 36,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △102,430 | △127,763 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 39,652 | 20,451 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △5,770 | △408 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △48,195 | △573 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 21 | — |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △286,549 |
| 差入保証金の回収による収入 | — | 16,351 |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 51,772 |
| その他 | △50 | △8 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △92,772 | △317,727 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | — | 50,000 |
| 短期借入金の返済による支出 | — | △50,000 |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | 420,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △380,952 | △577,855 |
| 新株予約権の発行による収入 | — | 240 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 6,500 | 13,709 |
| リース債務の返済による支出 | △69,348 | △88,239 |
| 割賦債務の返済による支出 | △15,824 | △34,107 |
| 自己株式の取得による支出 | △37 | — |
| その他 | — | △214 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 40,336 | △266,466 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | 424,025 | △53,001 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 488,493 | 912,518 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 912,518 | 859,517 |

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項ありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づいて実施しており、新型コロナウイルス感染拡大による当社グループの業績への影響は限定的であるものと仮定して会計上の見積りを行っております。

なお、当該見積りは現時点の最善の見積りであるものの、今後の感染症の状況や経済情勢によって経営環境への影響が変化した場合には、会計上の見積りの仮定が大きく乖離する可能性があり、翌連結会計年度以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

（セグメント情報等）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「素材ビジネス」及び「資源ビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

「素材ビジネス」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉碎加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑化して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「資源ビジネス」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のために採用される会計方針」に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年7月1日 至 2022年6月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 素材ビジネス | 資源ビジネス | 計 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,526,676 | 2,206,226 | 3,732,902 | 3,732,902 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 75,409 | 6,681 | 82,090 | 82,090 |
| 計 | 1,602,085 | 2,212,907 | 3,814,992 | 3,814,992 |
| セグメント利益 | 158,247 | 480,864 | 639,111 | 639,111 |
| セグメント資産 | 1,881,342 | 1,198,203 | 3,079,546 | 3,079,546 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 162,289 | 53,225 | 215,515 | 215,515 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 49,808 | 75,696 | 125,504 | 125,504 |

当連結会計年度（自 2022年7月1日 至 2023年6月30日）

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | 合計 |
|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| | 素材ビジネス | 資源ビジネス | 計 | |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,521,701 | 2,950,304 | 4,472,006 | 4,472,006 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 68,727 | 1,815 | 70,543 | 70,543 |
| 計 | 1,590,429 | 2,952,120 | 4,542,549 | 4,542,549 |
| セグメント利益 | 165,819 | 553,935 | 719,755 | 719,755 |
| セグメント資産 | 1,626,386 | 2,389,901 | 4,016,288 | 4,016,288 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 162,268 | 112,942 | 275,211 | 275,211 |
| 有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 | 69,009 | 97,683 | 166,693 | 166,693 |

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 売上高 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 3,814,992 | 4,472,006 |
| セグメント間取引消去 | △82,090 | △70,543 |
| 連結財務諸表の売上高 | 3,732,902 | 4,542,549 |

（単位：千円）

| 利益 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|-------------|----------|----------|
| 報告セグメント計 | 639,111 | 719,755 |
| 全社費用（注） | △380,711 | △516,246 |
| セグメント間消去 | 455 | 2,486 |
| 未実現利益の調整額 | 4,187 | 5,333 |
| 連結財務諸表の営業利益 | 263,043 | 211,329 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

（単位：千円）

| 資産 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|----------------|-----------|-----------|
| 報告セグメント計 | 3,079,546 | 4,016,288 |
| セグメント間の債権の相殺消去 | △506,330 | △346,757 |
| 全社資産（注） | 686,102 | 114,954 |
| 未実現利益の調整額 | △6,755 | △1,421 |
| 連結財務諸表の資産合計 | 3,252,562 | 3,783,063 |

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

（単位：千円）

| その他の項目 | 報告セグメント計 | | その他 | | 調整額 | | 連結財務諸表計上額 | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 | 前連結 会計年度 | 当連結 会計年度 |
| 減価償却費 | 215,515 | 275,211 | — | — | 13,014 | 13,492 | 228,529 | 288,703 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 125,504 | 166,693 | — | — | 1,705 | 42,248 | 127,209 | 208,942 |

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

【報告セグメントごとの資産に関する情報】

（子会社の取得による資産の著しい増加）

第1四半期連結会計期間において、株式会社コネクションの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「資源ビジネス」のセグメント資産が1,058,238千円増加しております。

【報告セグメントの変更等に関する事項】

第1四半期連結会計期間より組織変更に伴い、報告セグメントの名称を従来の「再生樹脂製造販売事業」を「素材ビジネス」へ、「産業廃棄物処理事業」を「資源ビジネス」にそれぞれ変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度の報告セグメントについても、変更後の名称で表示しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

（固定資産に係る重要な減損損失）

報告セグメントに帰属しない「全社費用」において、法定耐用年数到来前に使用予定がない遊休資産、コネクション取得時ののれん及びリサイクルナイロン製造関連資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当連結会計年度において633,002千円であります。

（1株当たり情報）

| | 前連結会計年度 （自 2021年7月1日 至 2022年6月30日） | 当連結会計年度 （自 2022年7月1日 至 2023年6月30日） |
|---------------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 164円70銭 | 16円54銭 |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失（△） | 55円30銭 | △151円81銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | 54円37銭 | — |

（注）1. 潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益を記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 （自 2021年7月1日 至 2022年6月30日） | 当連結会計年度 （自 2022年7月1日 至 2023年6月30日） |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円） | 182,848 | △504,840 |
| 普通株主に帰属しない金額（千円） | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（△）（千円） | 182,848 | △504,840 |
| 普通株式の期中平均株式数（株） | 3,306,443 | 3,325,471 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円） | 182,848 | — |
| 普通株式増加数（株） | 56,491 | — |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要 | 第2回新株予約権（新株予約権の数79個（普通株式7,900株）） | — |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 （2022年6月30日） | 当連結会計年度 （2023年6月30日） |
|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 純資産の部の合計額（千円） | 570,058 | 99,702 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額（千円） | 24,425 | 44,481 |
| （うち新株予約権（千円）） | (24,425) | (44,481) |
| 普通株式に係る期末の純資産額（千円） | 545,632 | 99,702 |
| 1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株） | 3,312,798 | 3,338,084 |

（重要な後発事象）

該当事項ありません。